

会議要録

会議名	第2回日本語適応指導支援等業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年1月24日(火曜日) 午前10時～午前10時30分
開催場所	教育センター 研修室3
委員	(出席者)福井正仁委員、石鍋浩委員、水沼恵美子委員 上村隆委員、篠崎玲子委員
事務局	澤木俊宏、小林あかり(教育支援係) 野口由博(指導主事)
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配付資料	[配付資料] 資料1 日本語適応指導支援等業務委託事業候補者選考第一次審査集計結果 資料1-1 事務局審査基準表 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール(案) 資料3 日本語適応指導支援等業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項(案) 資料4 第二次審査採点基準表 資料5 第1回日本語適応指導支援等業務委託事業候補者選考委員会会議要録

会議の結果及び主要な発言

1 開会

2 第一次選考結果について (事務局説明)

・講評

D 委員

比較対象事業者がおらず評価の基準がわかりにくかったため、少し点数を低く評価したが、本事業者が不適切だという意味ではない。しかし、企画提案書記載の内容について分かりにくい点と、将来的に考えた際に気になる点があった。

まず、指導員の人数に対して管理・監督する人数が少ないという印象を受けた。特に、指導員の評価について細かく設定しているため、どのように人数分行っていくか伺いたい。

次に、研修の内容が一方的だと感じた。指導員同士で意見交換したり交流したりする場はあるのか確認したい。

B 委員

提案内容が細かく記載されているため、意欲が感じられる。比較対象事業者はいないが、他の地区で実施したプロポーザルでの事業者の提案資料に比べて本事業者の書類は丁寧である。

補足資料2・授業観察チェックシートについて、学校、特に校長先生とのやりとりに関する項目が少ないと感じた。担当教諭とのやりとりに関しては観察項目に含まれているが、校長とのやりとりに関しては非常に重要であるにも関わらず、内容が薄く感じる。他の企画書類からも確認しにくい。本事業者が選定されると仮定した場合に、学校とのやりとりをどのようにするのか伺いたい。

C 委員

比較対象がなく、一者のみの選考だったが、内容的にみると十分に任せることができるかと評価したため、高得点となった。

雇用形態、職員の配置についてヒアリングで詳しく確認したい。

A 委員

全体的に細かく丁寧に触れられており、十分に任せられると思うが、気になる点が2点ある。

1点目は、指導員の配置依頼から実際の配置までの期間について、どのくらいの期間で配置できるのか、第二次審査で伺いたい。

2点目は、企画提案書7(2)のトラブル対応について、「教育委員会、学校へ状況を電話または書面で報告します」との記載があるが、先に報告するのは教育委員会か学校か、第二次審査で伺いたい。

E 委員

具体的なイメージが浮かびにくい提案書類ではあったが、業務従事予定者の配置計画及びスケジュール、企画提案書の記載内容から判断したところ、おおむね期待水準は達していると感じた。方針、採用基準、研修内容について、具体性に欠けると感じたため第二次審査で詳しく伺いたい。教育委員会との連携、緊急対応、効果検証について適切な記載がなされていて理解できたので評価を高くした。

協議の結果、本事業者を第一次審査通過者とする。

**3 第二次選考について
(事務局説明)**

C 委員

今回、1者のみの参加であることが、事業者に気付かれてしまうとよろしくない。
事業者が競争心をもって臨めるように努めてほしい。

4 閉会